



[ようこそ スペシャルシートへ <石津海岸公園ベンチ>](#)

静岡県民の皆様、そして全国で『健康いきいき 心ときめき』ご愛読の静岡大好き人間の皆様、如何お過ごしでしょうか。

令和2年度より志太・榛北地区特派員を仰せつかりました宮島克実と申します。  
地元焼津市を始め、藤枝市・島田市・川根本町の「今」を発信させていただきますので宜しくお願い致します。

元号が「平成」から「令和」に改まり、晴れ晴れしい気持ちで、令和初の正月を迎えたばかりと思っておりましたが、突如、新型コロナウイルスの感染が拡大し、4月には緊急事態宣言が発令され世の中が一変してしまいました。  
ここにきて少しだけ“新型コロナウイルスの正体”や傾向と対策が垣間見えたようにも思います。

でも気を引き締めて三密の励行を忘れないようにしましょう。

そんなストレスフルな日々がまだまだ続くと思われます。  
さあ、ここでゆっくり、大～きく三回、深呼吸をしてみましょう。

ふ～～～（ 思いっきり吐いて・吐いて～・吐いて～ ）  
す～～～（ 思いっきり吸って・吸って～・吸って～ ）  
ふ～～～（ 思いっきり吐いて・吐いて～・吐いて～ ）  
す～～～（ 思いっきり吸って・吸って～・吸って～ ）  
ふ～～～（ 思いっきり吐いて・吐いて～・吐いて～ ）  
す～～～（ 思いっきり吸って・吸って～・吸って～ ）

最後にもう一回、マイナスな感情をぜえ～んぶ吐き出すイメージで

ふ～～～（ 思いっきり吐いて・吐いて～・吐いて～ ）

さあスッキリできましたでしょうか。

そしたら、目を閉じて楽しかったお正月の出来事や、家族や友達、み～んなの笑顔を思い出して、それらで心をいっぱい満たしましょう。

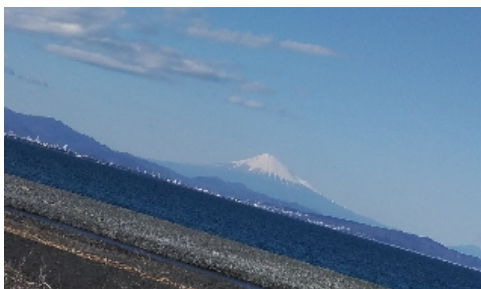
そしたら、もうひとつ、  
今年の県民だより・正月号の一面を飾った写真も思い出して下さいね。

静岡の正月といえば、やっぱり富士山ですね。  
今年は、県下に数ある「富士山観望名所」の中から、ここ焼津市の“石津海岸公園”が選ばれたのです。



### 県民だより正月号

私はこの写真を見て、一瞬で“あそこだ”ってわかりました。  
それは、子供の頃からずっと、この浜辺で、このまるで絵葉書のような構図の日本一の富士山を見ながら育ってきたのですから。



石津海岸公園よりの富士山

### 石津海岸公園よりの富士山

実は、今回特派員に任命されたきっかけは、今年の「熟年メッセージ大会」で発表した『フーテンの宮さん顛末記』が“はつらつ賞”を頂いたことからでした。

若かりし頃、“フーテンの寅さん”のように全国を旅していた青春のひと時があり「お兄さん郷里(くに)はどこ？」と聞かれ「静岡です」と答えると、十中八九の方のコメントが「静岡はいいねえ、山も海もあって美味しいものがいっぱい食べられて、富士山をいつも見られて羨ましいねえ」でした。

唯一、広島県民からは「じゃけん、広島が一番じゃろ～」と。  
カープファンの熱狂的な様子が垣間見えた気がしました。

静岡の人はその豊かさに慣れてしまったのか、謙虚なのか、郷土愛を強く語る人にあまりお目にかからないと思うのは私だけでしょうか。

生まれも育ちも焼津市石津向の特派員としては、特派員だよりの第一号に“石津海岸公園”を詳しくご紹介する予定でございましたが、緊急事態宣言の発令により投稿できなくなりましたので、後日、観光等が解禁になりベストシーズンになる頃改めてご案内させていただきます。

今月は、  
静岡といえまず“富士とお茶”日本一の茶処「しずおか」  
その中でも、京都宇治・福岡八女と並び、日本三大玉露産地のひとつ、藤枝市岡部町の「朝比奈玉露」の手摘みの様子をお伝えします。

静岡方面からですと、旧国道一号線の大旅籠柏屋前のT字路交差点を右折し約4km、朝比奈川に

沿って車を走らせると、右側に「道の駅玉露の里」を通りすぎ、更に進むと山肌に黒い寒冷紗(かんれいしゃ)が点在するのが見えてきます。

その寒冷紗の中に瑞々しい茶の新芽が初夏の訪れを告げているのです。



[山肌の寒冷紗](#)



[寒冷紗の内側](#)



[新芽が伸びています](#)



[一芯二葉の新芽](#)

「玉露」になる新芽は、いつまでも若々しい“昭和の茶娘さん”たちが、“一芯二葉”のみを手でやさしく摘み取って、すぐ製茶工場に届けられ、あの愛しい程に爽やかな味わいの新茶に仕上げられるのです。



[手摘み 近景](#)



[手摘み 近景](#)

その貴重な緑茶は天皇家にも献上されていて「平成29年度 献上茶謹製事業指定園」のポールが茶園の脇に立っていました。  
美智子様もお忙しいご公務の間に、朝比奈のお茶で、一服されたことでしょうか。

全盛期には100軒以上あったという茶農家も今では十数軒になってしまったそうですが、その内でも中心

的に活躍されている岡部町宮島の遠藤昇さんの茶園で取材させていただきました。



[献上記念ポール](#)



[献上玉露茶](#)

緑茶の消費も従来の急須からペットボトル、更にスイーツへと。又その効能効果等も注目されて、緑茶石鹸やサプリメントなどの素材にと、その緑茶志向も変わり新たな展開が期待されているようです。



[道の駅玉露ソフト](#)



[玉露飴](#)



[玉露ゼラートと抹茶大福](#)



[藤枝抹茶ロール](#)

さて、貴方はどんなカテゴリーのお茶がお好きですか。

今日は私も、コロナストレスの解消(言い訳)に、“抹茶いちご大福”を、濃い目のお茶で頂くことにしましょう(にっこり)。

最後にこんな情報も。

今シーズンは緊急事態宣言の発令により、実施が中止されましたが、藤枝市では来年度も茶摘みのボランティアさんを募集するようです。

山あいの茶畑でウグイスの声を聴きながら、“昭和の茶娘さん”たちとの談笑を楽しみながら一緒にお茶摘みしませんか。

詳細は

◆藤枝市茶振興協議会 <<藤枝市岡出山2-15-25 藤枝市役所お茶のまち推進室内>>

電話 054-643-3266 又はHPをご覧ください。

取材: 志太・榛北地区担当 生きがい特派員 宮島克実